

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.206

2022. 12. 2
発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議
連絡先 県生協連・県消団連
TEL 019-684-2225
FAX 019-684-2227

「憲法改悪を許さない全国署名」17,778 筆（～11 月末。うち郵送 306 通・1,149 筆）

市内全高校に配布(6年目)！

高校生向けリーフレット「『日本国憲法』を知っていますか？」

一平和憲法・9条を守る花巻市民の会一

高校生に日本国憲法をより深く知ってもらおうと、右記のような空色三つ折りのリーフレットを作成。10月24日～26日、市内6高校（花巻北、花巻南、花巻農、花北青雲、大迫、花巻東）で、登校してくる生徒さんに直接手渡しする方法で配布しました。車で校内まで送られてくる生徒や、自転車で駆け込む生徒を除いて、1,137 名（生徒数の約 40%）に、リーフレットを配布することができました。



昨年はコロナ蔓延の影響で4校のみの実施でしたが、今年は時期を2か月遅らすことで、全6校に配布することができました。一昨年から始めた花巻空襲体験談の掲載は好評で、今年は本会の林正文代表が9歳の時に経験した貴重な花巻空襲の体験談を掲載させていただきました。（加藤昭雄）

今こそ「戦争やめよ、憲法を守ろう！」の声を！音楽と講演のつとめ開催

一平和憲法・9条をまもる都南の会一



はじめに、弦楽合奏団「虹クインテット」さんによる演奏を実施。心地よい音色に、久しぶりに心癒されるゆったりとした時間を過ごすことができ、気分がス～ッとした瞬間が満ち溢れました。

その後、内丸教会牧師で宗教者9条の会会員、盛岡スコーレ高校で聖書課講師を担当している中原陽子さんが、「平和憲法と内心の自由を考える～安倍元総理の「国葬」にふれて～」と題し講演。国葬に関する背景や、旧統一教会と安倍親族や安倍晋三氏の親交の深さ、自民党との根強い繋がりを掘り下げ、詳しくわかりやすく丁寧なお話は、

Good タイミングの講演会でした。

75 名の参加者からは、「あらためて教育権や平和について考えるきっかけになった」「情報を知るチャンスに出会えてよかった。知る大切さを実感」等の感想が寄せられました。

（伊藤稲子）



◀ お知らせ ▶

○ 岩手版「憲法改悪を許さない全国署名」用紙を

新調しました！

Q&A 部分等を変更しました。希望する団体・組織にお送りしますので、岩手県生協連までご連絡下さい。



○ 学習に最適！九条の会ブックレット

「新たな改憲の危機と九条の会運動の意義」

7/29 九条の会事務局主催学習会の内容が掲載されています。

1冊 500 円を 400 円（送料込）でお届けします。

岩手県生協連までご連絡下さい。



コラム — “バイデン米大統領よ、お前もか？” — 「核体制の見直し（NPR）」を巡って —

「ロシアによるウクライナ侵略」の続くもと、「バイデン米政権は（10月）27日、核戦略指針「核体制の見直し（NPR）」を公表した」との報道に接し、改めて「米政権」の「核使用」について思いました。

それは「ウクライナに侵攻したロシアのプーチン大統領が核兵器使用をちらつかせ、世界の安全保障環境が厳しさを増す中、核抑止力は『米国の優先事項』だとし、中国、北朝鮮の脅威にも対処するため、日本や韓国など同盟国への『核の傘』を協会する」としたと言う。報道の解説によれば「米国や同盟国の重大な利益を守る『極限の状況』に置かれた場合のみ核使用を考慮する」としたものだと言う。核の「先制不使用宣言」をしませんでした。

これはプーチン露大統領の「核使用」発言と“五十歩百歩”の違いに過ぎなのではないでしょうか。

2021年1月、核兵器禁止条約が発効しました。これは国際連合による国際条約。米国は未だに「不参加・反対」を表明し、未だにその「リーダー国」の振舞いをしています。

核兵器禁止条約が存在するもと、米国といえども核の「先制不使用宣言」をするべきではないでしょうか。そうでなければ米国は「民主主義国か、平和主義国か」が問われることになると思います。

日本の国民運動は米国を“是々非々”で見て、その“非”に対して国際社会とともに「反対！」「止めろ！」の声をあげるべきではないかと思います。(T)

「12月の街宣署名行動」

9日(金)12:15～12:45 盛岡市大通・野村証券前

「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかけます。

ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

